
学会行事

学会奨励賞

2018年度日本社会関連会計学会奨励賞は、以下の論文が受賞いたしました。

中尾悠利子「言葉と環境/社会パフォーマンスとの関連—テキストマイニングによるCSRレトリック分析—」第30号所収

<受賞理由>本論文は、2001年から15年間継続してサステナビリティ報告を発行している54社を対象に、テキストマイニングの技法を採用し、環境/社会パフォーマンスの良し悪しの違いによって、サステナビリティ報告の定性情報の中でも、最も重要なトップステートメントにおけるCSRレトリックに相違があるかどうかを明らかにした点に大きな意義がある。本論文では言葉による正統化の違いを、Castello and Lozano(2011)による戦略的、制度的、弁証法的という、3つのCSRレトリックに従って分析し、その結果、環境/社会パフォーマンスの良い企業は「弁証法的CSRレトリック」を使用する傾向が見られ、環境/社会パフォーマンスの悪い企業は、「戦略的CSRレトリック」や「制度的CSRレトリック」の使用傾向は見られるが「弁証法的CSRレトリック」の使用傾向を示さないことを明らかにした。

審査においては、Castello and LozanoのCSRレトリック自体に関する概念的・理論的な考察が不十分ではないか、分析結果の解釈がやや荒削りである、調査対象54社の労働や人権の記述の量的な多寡で以て先進的と言えるかどうか、などの指摘もあった。このよう

な指摘もあるが、環境/社会パフォーマンスと言葉との関連を視覚化して解釈可能とした点や、テキストマイニングを用いた研究の先進性・発展性が評価され、本論文の受賞に至った。

第32回全国大会

2018(平成30)年10月27日(土)～10月28日(日)

会場：関西学院

大会準備委員長：梶浦昭友（関西学院大学）

【第1日：10月27日（土）】

10:40～12:10

理事会（第2教授研究館（池内記念館）研究会室1）

11:50～16:45

参加者受付（第4別館2階ホワイエ）

12:20～13:00

会員総会（第4別館4階AV402教室）

13:10～14:25

統一論題報告：ESGと会計

司会：水野一郎氏（関西大学）

13:10～13:35

「SとGを会計データから考える—探索的会計ビッグデータ解析—」阪智香氏（関西学院大学）

13:35～14:00

「ESG情報の多様性と比較可能性—財務報告の有用性向上の視点から—」越智信仁氏（尚美学園大学）

14:00～14:25

「ESG情報による企業評価の多様性」向山敦夫氏（大阪市立大学）

14:35～15:35

スタディ・グループ最終報告

司会：大原昌明氏（北星学園大学）
14:35～15:05
(1) 研究代表者：東田明氏（名城大学）「環境経営のためのマネジメント・コントロール・システムに関する研究」

15:05～15:35
(2) 研究代表者：中嶋道靖氏（関西大学）「持続可能性社会を目指すための情報開示に関する調査研究」

15:50～16:50
統一論題討論：ESGと会計
座長：水野一郎氏（関西大学）
パネラー：阪智香氏（関西学院大学）
越智信仁氏（尚美学園大学）
向山敦夫氏（大阪市立大学）

17:00～18:00
特別講演：大和ハウス工業（株）の統合報告書
関沙織氏（大和ハウス工業(株) IR室）

18:15～19:45
懇親会 関西学院会館（宝塚ホテル運営）
1階翼の間

【第2日10月28日（日）】

9:30～11:30
参加者受付（D号館1階ホワイエ）
自由論題1：D号館2階203教室
司会：岡照二氏（関西大学）

10:00～10:30
「GHG情報開示の変化と影響要因」
東田明氏（名城大学）、楚雪氏（名城大学博士課程）、朱曦氏（名城大学修士課程）

10:30～11:00
「AI支援によるサステナビリティ指標の試

行的取り組み—SDGs時代における社会的評価手法の開発への挑戦—」

中尾悠利子氏（公立鳥取環境大学）、石野亜耶氏（広島経済大学）、岡田斎氏（広島経済大学）、國部克彦氏（神戸大学）
自由論題2：D号館2階202教室
司会：譚鵬氏（中部大学）

10:00～10:30
「評価実践としての会計—日本におけるROE言説をめぐって」
阿部健人氏（神戸大学博士課程）

10:30～11:00
「男女間賃金格差是正のための財務報告」
野口晃弘氏（名古屋大学）・Afdal氏（名古屋大学博士課程）
自由論題3：D号館2階203教室
司会：冨増和彦氏（愛知大学）

11:10～11:40
「労働生産性の測定に関する考察：営利・非営利組織の観点から」
黒木淳氏（横浜市立大学）

11:40～12:10
「企業の被災地支援に対する株式市場の反応—熊本地震後のデータを用いたイベント・スタディー—」

東健太郎氏（立命館大学）
自由論題4：D号館2階202教室
司会：井上達男氏（関西学院大学）

11:10～11:40
「在宅医療マネジメントの現状と課題—岡山県の倉敷市・総社市の機能強化型在宅療養支援診療所の経営実践に焦点を当てて—」
谷光透氏（川崎医療福祉大学）

11:40～12:10

「外観的独立性に関するIFACとJICPAとの
意義の相違」竹森一正氏（中部大学）

東日本部会

日時：2018年7月14日（土）14:00～

会場：北星学園大学C館4階

準備委員長：大原昌明（北星学園大学）

■受付開始（13:30～）… C400（C館4階）前

■第1セッション（14:00～15:35）

司会：飯野幸江氏（嘉悦大学）

14:00～14:45

第1報告 金宰弘氏（関東学園大学）・國部
克彦氏（神戸大学大学院）「コーポレートガ
バナンスが企業パフォーマンスを促進する
メカニズム：SMCSの媒介効果を中心に」

14:50～15:35

第2報告 長岡 正氏（札幌学院大学）「環境
報告における物流の取組みの発展－物流事
業者と荷主企業の比較を中心として－」

■休憩 15:35～15:50（15分）

■第2セッション（15:50～17:25）

司会：坂上 学氏（法政大学）

15:50～16:35

第3報告 大坪史治氏（獨協大学）・黄 海湘
氏（獨協大学）「内容からみた過去10年間に
おける非財務報告書のトレンド分析」

16:40～17:25

第4報告 宮崎修行氏（国際基督教大学）
「岩井の『2階建て会社論』とCSR会計」

■懇親会（17:45～19:30）

大学会館3階生協食堂

西日本部会

2018年7月7日（土） 13:15～

場所：大阪市立大学梅田サテライト（大阪駅
前第2ビル6階）

■第1報告（13:15～14:35）

千賀喜史氏（神戸大学大学院経営学研究科）

「ESG関連Key Performance Indicator の
マネジメント・コントロールからの考察」

■第2報告（14:45～16:05）

東田明氏（名城大学）「温室効果ガス削減目
標と業績指標の利用」

■第3報告（16:15～17:15）

中嶋道靖（関西大学）他「持続可能性社会
を目指すための情報開示に関する調査研
究」（本学会スタディ・グループの研究）

■懇親会（17:30～19:30）

中華料理「老房（LAO FANG）」（大阪駅前
第1ビル 12F）